

前田花帆さん（中川根第一小学校6年）



昨年ボール投げに挑戦し、くやしい思いをしたので今年再挑戦しました。本番では、投げるタイミングも良く、うまく飛ばせた感触がありました。放課後の練習でみっちり投げ込んだ成果が発揮できたと思います。

山下由貴さん（本川根小学校6年）



私は60メートルハードルに出場しました。走っている間、みんなの声援が聞こえてきて、すごく励みになりました。そのおかげで精いっぱい力を出し切ることができ、レースでは1位になることができました。

大橋秀也さん（中川根第一小学校6年）



60メートルハードルと100メートル走、リレーに出ました。練習時間はほとんどハードル走に費やしました。最初はうまく飛ばなかったけど、先生のアドバイスで改善できました。練習よりうまく走ることができました。

和田泰成さん（本川根小学校5年）



僕は100メートル走に出場しました。走る前は全然自信が持たなくて、走り出すまで不安がありました。でも、実際に走ってみたらすごく調子が良くて。頑張っって1位になることができました。とてもうれしかったです。

小西健斗さん（中川根第一小学校5年）



僕は1500メートル走に出場しました。本番ではすごく緊張したのでタイムが落ちると思ったけど、いつも以上に調子よく走れました。みんなの応援のおかげでちょっと速くなったかも。全力で走りきることができました。

宮島洗樹さん（本川根小学校6年）



僕は1500メートル走に出場しました。練習では、毎日長い距離を走ってきました。今日のレースでは最初からどんどん攻めていくことができ、ライバルの選手と争って1位になることができました。うれしかったです。

山下歩実さん（中川根南部小学校6年）



私は60メートルハードルに出場しました。今まで走ってきた中で今日が一番調子が良くて、頑張っって走りきることができました。一生懸命走れたから満足しています。みんなの応援の声もとてもうれしかったです。

加藤大雅さん（中央小学校6年）



100メートル走はタイムは良かったけど1位にはなれずやしかったです。でも幅跳びもリレーも全力で挑みました。今日はほかの学校の子たちと勝負できたり、話したりすることができてとても楽しいです。

塚本浩武さん（中川根南部小学校6年）



僕は60メートルハードルに出場しました。本番では一人抜くことができて良かったです。目いっぱい力を発揮できたと思います。レース中は、母や祖母が応援する声が聞こえてきて、すごくうれしく思いました。

小坂海結さん（中央小学校4年）



800メートルでは最後の最後で抜かれくやしい思いをしました。リレーではアンカーとして出場しました。この日のため朝の練習を繰り返してきたリレー。みんながつないでくれたバトンを精いっぱいゴールへ運びました。

北原奏太さん（中川根南部小学校6年）



1カ月前くらいからこの日に向け、ボール投げの練習を重ねてきました。本番では自己ベストを出すことができ満足しています。友達みんなの声援を背に受け、思い切って投げることができたと思います。

蘭田菜良さん（中央小学校5年）



私はボール投げと100メートル走、リレーに出場しました。本番では練習通りの力を発揮できたと思います。スタート前にはみんなの声援が聞こえてきてすごくうれしかったです。さらに頑張ることができました。

子どもたちに感じる無限の可能性



競技を観覧した佐藤公敏 町長

町内4校の子どもたちが一堂に会して開催される本大会。普段各学校で開かれる運動会とは違い、各選手たちのユニフォーム姿からは、代表としての風格が漂っていました。

人口8000人規模の小さな山あいの町ですが、ここから世界に羽ばたく選手が現れる可能性だってあります。懸命に、ひたむきに、ベストを尽くして頑張る子どもたちの姿からは、そんな無限の可能性を感じました。

## 夏を駆け抜ける、魂

出場選手に抜き打ちインタビュー。みんな、練習し

け抜けた。フィールドでは走り幅跳びなどの種目も始まっている。全身をバネのようにしながら、空に向けて一気に飛び出す幅跳び。向かって一気に出す幅跳び。全身の力を溜め、力いっぱい投げるボール投げ。どの種目も、子どもたちのひたむきさが光った。見る者の心を打った。額の汗が、首筋の汗が、大会にかけて子どもたちの「思い」を物語っていた。

途中降雨による中断などもあったが、大会事務局の適切な処置と努力によって、全ての競技を滞りなく終了させることができた。閉会式。子どもたちが見せる満面の笑顔が、晴れ間から差し込む日差しに映えていた。今年も盛況のうちに幕を閉じたこの大会。子どもたちの心に残ったものは、果たしてやり遂げた充実感だけだろうか。

## を震わせろ。ゴールは目の前だ

た成果を全部出し切り、精いっぱい挑むことができたのか。生の声を聞いてください

「100メートル走の選手は所定の位置に集まってください」。場内アナウンスが流れるたび、緊張した子どもたちが移動を始める。「頑張っって」「しっかり」。その背中に、他種目に出場する子どもたちがエールを送る。

次々にスタートのピストルが鳴り響く。短距離走、ハードル、長距離走……。ほんの数秒、数分の本番のために練習を重ねた子どもたち。どの子もしっかり大地を蹴り、ゴールを目指して駆

自信に満ちた顔が並ぶ



魂を燃やせ

Zoom up

本川根小学校クラウンド  
7月26日 午前8時30分

平成23年度  
榛原地区北地域小学校  
陸上競技大会